

ほつかいどう NIE 通信

Newspaper in Education



発行 北海道NIE推進協議会

〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 北海道新聞社内 ☎ 011-210-5802 FAX 011-210-5826

道北の小さな商業高校の教壇で、高校社会科の教員としてスタートしてから30余年。ほとんどの生徒が卒業後、就職して社会人になるにもかかわらず、社会への関心が低かった。授業の教材として、就職試験の対策として、新聞記事の活用を考えた。

「新聞」は、私の教員人生の最初から大きな味方だったと言える。さて、昨年告示された高経済」の授業では、生徒に翌年から担当した「政治・



小樽桜陽高校長 工藤 慶明

教員人生の大好きな味方

簡単に入れることができるインターネット経由の情報は、情報発信も容易であるため、私的な誤った情報や偏った情報などが含まれているが、新聞からの情報

簡単に手に入れることができる。「新聞」を活用できる。私も会員となっている北海道高等学校政治経済研究会の会員も、NIE活動に加わり、中には実践指定校

指導だけでなく、学校の教育活動のさまざまな分野にわたって「新聞の活用」に取り組んでいる。教育界と新聞界の協力の象徴であるNIE活動が、今後ともますます発展していくことを期待する。

最近ではWebサイトから簡単にコピーして、見出しの大きさや配置

日本新聞文化財団の主催。15回目の今年は過去最多の1700人が参加しました。これまでの小中高、中高一貫校に加え、大学、生涯学習の6分科会で20を超えた。

配付する資料に記事を貼り付け、教科書の資料を補つた。先輩の先生から助言をいただき、生徒自身に新聞を読ませて、授業で発表させることも取り入れた。

このうち大学の分科会では、日本NIE学会会長である広島大の小原友行教授が、

限らず多くの教科で「新聞」の活用を推奨している。情報リテラシー教育を図る際の、第一級の情報源として位置づけられている。それは、最近の情報通信技術（ICT）の発達で、活動の充実」を図る上でも

報は、専門的な知識をもつたスタッフのチェックを受けていて信頼性が高いからである。また、今回の学習指導要領で重視されている「言語

指導だけではなく、学校の教育活動のさまざまな分野にわたって「新聞の活用」に取り組んでいる。教育界と新聞界の協力の象徴であるNIE活動が、今後ともますます発展していくことを期待する。

北海道新聞ホームページ「NIE」(www.doshin-nie.com/)でバックナンバーから閲覧できます

熊本でNIE全国大会

NIEの実践を続ける全国の教職員や新聞関係者を集めたNIE全国大会が7月29、30の両日、熊本市で開かれた。「学校から社会へ」学びを深め、暮らしに生きるNIEをテーマに、初めて大学と生涯学習の論議の場を設け、活発な論議を繰り広げた。（関連記事2面に）

す実践報告や公開授業、パネルディスカッションが行われた。

このうち大学の分科会では、日本NIE学会会長である広島大の小原友行教授が、

このほか、高大連携や新聞を活用した大学の授業についても意見を交わした。若者の新聞離れを食い止めの方策として地元・熊本大生グループが、アンケートをもとに考えた学生が親し

このほか、高大連携や新聞を活用した大学の授業についても意見を交わした。若者の新聞離れを食い止めの方策として地元・熊本大生グループが、アンケートをもとに考えた学生が親し

みやすい新聞のアイデアを披露、NIEが果たすべき新たな役割について考えた。このほかの分科会でも

大学での活用論議

過去最多 1700人集う



次回大会は来年7月25、26日、青森市で開かれる。

大学生の読解力や論述能力が低下している実態が相次いで報告された。また、NIE推進協議会を発足させて町ぐるみで取り組む熊本県大津町の動きも紹介された。さらに、中高一貫の同県・八代中・高校が「新聞クラブ」をして中、高校生が、それぞれ関心を持った記事をスクラップ、交換日記のようご回し読みしていく授業を公開した。

また、家族や友人と一緒に新聞を読んで自分の考えをまとめ、記事をより深く広く読み込んでいく、財団を始めた小学校の授業も公開された。次回大会は来年7月25、26日、青森市で開かれる。

本年度NIEセミナー始まる

かべ新聞指導報告 鉄路

2010年(平成22年)8月25日

NIE全国大会を振り返って



教育現場での新聞活用事例などを話し合う当推進協議会の本年度のNIEセミナーが6月26日、鉄路を皮切りに始まり、7月16日に函館でも行われた。

北海道新聞鉄路支社での

鉄路セミナーには、道教大

訓路校の学生を含む近隣の40人が出席。同大の本橋幸

康准教授が「学力とNIE」

と題して講演した。本橋教

授は「授業で新聞をダイレ

クトに取り込むより、学習

ステップを区切つて取り入

れていく視点が必要」と強

調した。続いて4教諭が実践発

表。帯広市立啓西小の森谷

栄介教諭は家族で新聞を読

み、互いに意見を出し合う

「ファミリーフォーカス」

の取り組みを紹介した。

かべ新聞コンクール入賞

常連校の白糠町立庶路中の

木下正大教諭は、表現や決

まりごとをしっかりと覚え込

ませる指導について報告し

た。写真(上)。

鉄教大付属中の村瀬清史

教諭は、新聞に接すること

で生徒に自分なりの考えが

芽生えた事例を報告。鉄路

明輝高の安田耕一教諭は、

北海道新聞の「みらい君の

広場」に投稿した生徒に、

道新の読者から励ましの手

紙が届いた例を紹介した。

一方、函館市立五稜中で開かれた函館セミナーには

新しく人権」と題して「環

境権」の問題を取り上げた。

北電伊達火力発電所建設を使

い、憲法のどの規定で問題

になるかを3年C組の生徒

たちに考えてもらう授業。

同訴訟は結局、住民側の敗訴に終わったが、これを機に新しい権利が社会に定

着していく事実を同教諭が説明、生徒たちも真剣に聞き入っていた。

続く実践発表では3人が

見を聞く中で自分の考えを

深める授業を参観でき、今までの自分のスクラップが考

えをまとめるだけにとどま

り、深めるまでの間はできていな

かったことがわかった。ス

クラッププリレーは同一クラ

ス内で取り組むことができ、

他の人に回す。他の人は、自

ため、学びや暮らしの充実に

生涯学習社会を実現する

ため、開会式に続いて

「笑いのある人生」として

「笑点」でおなじみの落語芸

術協会会长、桂歌丸氏が記念

講演した。基調提案では「子

どもから大人までの新聞活

校の基礎学力の向上や社会

に目を向ける生徒を育成す

るため、NIEを学校設定教

科として導入したケースや

熊本県大津町での「まちぐる

みNIE」の先駆的な取り組

みも紹介された。

分科会では八代中・高校の

「新聞スクラッププリレー」

を見学した。中1と高1が

同じグループで選んだ記事

の要約や自分の考え方をつけ、

他の人に回す。他の人は、自

たが、先生は新聞記事を使いな

がら英語で反論した。

準備してきた意見とその

見を聞く中で自分の考えを

深める授業を参観でき、今までの自分のスクラップが考

えをまとめるだけにとどま

り、深めるまでの間はできていな

かったことがわかった。ス

クラッププリレーは同一クラ

ス内で取り組むことができ、

他の人に回す。他の人は、自

たが、先生は新聞記事を使いな

がら英語で反論した。

準備してきた意見とその

見を聞く中で自分の考えを

深める授業を参観でき、今までの自分のスクラップが考

えをまとめるだけにとどま

り、深めるまでの間はできていな

かったことがわかった。ス

クラッププリレーは同一クラ

ス内で取り組むことができ、

他の人に回す。他の人は、自

たが、先生は新聞記事を使いな

がら英語で反論した。

準備してきた意見とその

見を聞く中で自分の考えを

深める授業を参観でき、今までの自分のスクラップが考

えをまとめるだけにとどま

り、深めるまでの間はできていな

かったことがわかった。ス

クラッププリレーは同一クラ

ス内で取り組むことができ、

他の人に回す。他の人は、自

たが、先生は新聞記事を使いな

がら英語で反論した。

準備してきた意見とその

見を聞く中で自分の考えを

深める授業を参観でき、今までの自分のスクラップが考

えをまとめるだけにとどま

り、深めるまでの間はできていな

かったことがわかった。ス

クラッププリレーは同一クラ

ス内で取り組むことができ、

他の人に回す。他の人は、自

たが、先生は新聞記事を使いな

がら英語で反論した。

準備してきた意見とその

見を聞く中で自分の考えを

深める授業を参観でき、今までの自分のスクラップが考

えをまとめるだけにとどま

り、深めるまでの間はできていな

かったことがわかった。ス

クラッププリレーは同一クラ

ス内で取り組むことができ、

他の人に回す。他の人は、自

たが、先生は新聞記事を使いな

がら英語で反論した。

準備してきた意見とその

見を聞く中で自分の考えを

深める授業を参観でき、今までの自分のスクラップが考

えをまとめるだけにとどま

り、深めるまでの間はできていな

かったことがわかった。ス

クラッププリレーは同一クラ

ス内で取り組むことができ、

他の人に回す。他の人は、自

たが、先生は新聞記事を使いな

がら英語で反論した。

準備してきた意見とその

見を聞く中で自分の考えを

深める授業を参観でき、今までの自分のスクラップが考

えをまとめるだけにとどま

り、深めるまでの間はできていな

かったことがわかった。ス

クラッププリレーは同一クラ

ス内で取り組むことができ、

他の人に回す。他の人は、自

たが、先生は新聞記事を使いな

がら英語で反論した。

準備してきた意見とその

見を聞く中で自分の考えを

深める授業を参観でき、今までの自分のスクラップが考

えをまとめるだけにとどま

り、深めるまでの間はできていな

かったことがわかった。ス

クラッププリレーは同一クラ

ス内で取り組むことができ、

他の人に回す。他の人は、自

たが、先生は新聞記事を使いな

がら英語で反論した。

準備してきた意見とその

見を聞く中で自分の考えを

深める授業を参観でき、今までの自分のスクラップが考

えをまとめるだけにとどま

り、深めるまでの間はできていな

かったことがわかった。ス

クラッププリレーは同一クラ

ス内で取り組むことができ、

他の人に回す。他の人は、自

たが、先生は新聞記事を使いな

がら英語で反論した。

準備してきた意見とその

見を聞く中で自分の考えを

深める授業を参観でき、今までの自分のスクラップが考

えをまとめるだけにとどま

り、深めるまでの間はできていな

かったことがわかった。ス

クラッププリレーは同一クラ

ス内で取り組むことができ、

他の人に回す。他の人は、自

たが、先生は新聞記事を使いな

がら英語で反論した。

準備してきた意見とその

見を聞く中で自分の考えを

深める授業を参観でき、今までの自分のスクラップが考

えをまとめるだけにとどま

り、深めるまでの間はできていな

かったことがわかった。ス

クラッププリレーは同一クラ

ス内で取り組むことができ、

他の人に回す。他の人は、自

たが、先生は新聞記事を使いな

がら英語で反論した。

準備してきた意見とその

見を聞く中で自分の考えを

深める授業を参観でき、今までの自分のスクラップが考

えをまとめるだけにとどま

り、深めるまでの間はできていな

かったことがわかった。ス

クラッププリレーは同一クラ

ス内で取り組むことができ、

他の人に回す。他の人は、自

たが、先生は新聞記事を使いな

がら英語で反論した。

準備してきた意見とその

見を聞く中で自分の考えを

深める授業を参観でき、今までの自分のスクラップが考

えをまとめるだけにとどま

り、深めるまでの間はできていな

かったことがわかった。ス

クラッププリレーは同一クラ

ス内で取り組むことができ、

他の人に回す。他の人は、自

たが、先生は新聞記事を使いな

がら英語で反論した。

準備してきた意見とその見を聞く中で自分の考えを深める授業を参観でき、今までの自分のスクラップが考えをまとめるだけにとどまり、深めるまでの間はできていなかったことがわかった。スクラッププリレーは同一クラス内で取り組むことができ、他の人に回す。他の人は、自分が「学校で学んだことよりも社会に出で師匠や先輩から学んだことが役に立つ」と述べたが、これは学校教育に送られた「もつとがんばれ!」のエールだと感じた。

記念講演の冒頭、桂歌丸氏

が「学校で学んだことよりも

社会に出で師匠や先輩から

学んだことの方が役に立つ

た」と述べたが、これは学校

教育に送られた「もつとがん

ばれ!」のエールだと感じた。

記念講演の冒頭、桂歌丸氏

が「学校で学んだことよりも

社会に出で師

新聞を通して海外と関わりを考える旭川・常盤中の特設授業を見た。参観日に合わせて保護者と共にニュースや写真を読み解き、相手に理解させる、国際理解への意欲的な取り組みだ。

世界とのつながり実感



旭川・常盤中

見学した7月9日は、保護者参観日。2年生16人のクラスで、小林直樹教諭が2学期の地理「世界と日本の産業」の前段として「世界とつながる日本」の授業の実践を試みた。参観に来た保護者は5人。子どもの隣に座り、それ以外は生徒同士が机を寄せて着席した。

「何でもいい。わかることを言ってごらん」

現地の人とのスナップでは「写真一枚でも、空や太陽の具合から多くの情報を探し出せる」と説明した。 続いて国内のすしの冷凍食材が輸入もので占められ、獲れた場所が全世界に広がる現状を説明した。生徒たちの目が少しずつ外へ開かれていく。

この日は、新聞に出た海外の記事を要約し、隣の人

の北海道新聞本社で開かれ
た写真。

家族と対話しながら社会
の出来事に关心を持つても
らおうと札幌市内の小、中
学生とその保護者に呼びか
け、34組80人が集まつた。
会場には当日の朝日、読
書に説明させる試みも。新聞
をひっくり返して記事を探
し、必死にノートに書き写
す生徒たち。小林教諭は

2年地理 海外の記事要約し説明

実践校 リポート

「書くだけじゃなく、隣の人に説明してあげて」。生徒たちは消極的な穀を少しずつ脱ぎ、麻薬のコカインをサッカー・ワールドカップの優勝トロフィーの形にして運ぼうとした事件や全

聞購読を始める。その準備として、春から新聞の取り扱いを廊下に張り出している。「新聞のある風景常化」させ、新聞の「教材としての有用性」実感してもらう作戦だ。

準切しての景しも

地図帳を
時は調べ
い。面倒
こと。日
ずに取り
と話して

を置き、
る習慣
臭さか
白頃から
り組んで
いる。

分からぬ
づけをした
ら逃げない
肩ひじ張ら
いければ」

英テニスの選手の話題を選んでいた。
途中、北方領土の択捉島の記事を選んだ生徒には「択捉島は日本だよ」と教える場面も。

2学期の授業では世界地図をつくりて世界の中の日本を調べ、各紙の社説の読み比べ、心に残る記事、人に読ませたい記事の切り抜きをつくり、生徒の関心を広げていく計画。小林教諭

A classroom or workshop setting where several children and adults are gathered around tables. They are all focused on reading newspapers and cutting out specific articles or images with scissors. The environment appears to be a hands-on learning activity, possibly related to environmental education or recycling.

記事を切り抜いて台紙に張り付けてゆく作業。ふだん新聞に触れる機会が少なく、最初は途方に暮れた表情の子どもたちも、日下部憲一コーディネーターや4人の小学校教諭のアドバイスを受けると、徐々にこつをつかんだ様子。テーマを絞り込み、カラー写真で目を引くスポーツ記事や広告、環境をテーマにした記事を切り抜いて見出しや説明文を考え、独自性あふれる新聞をつくり上げていた。

新聞から海外の
記事を探す生徒
たちと小林教諭

北海道NIE研究会（坂田恵三・札幌市立新陵中学校校長）主催の「夏季研修会」が8月10日、北海道新聞社で開かれた。

A classroom scene showing a teacher standing at the front, facing a group of students seated at their desks. The teacher is gesturing with their hands while speaking. The students are looking towards the teacher, some with their hands raised as if asking questions. The room has white walls and a chalkboard visible in the background.

貯蓄や資本ストックが減少に向かう現実を現場教師がきちんと踏まえ、一覧性、保存性に優れた新聞がこれから情報収集や指導の重要なツールになると訴えた。

厚別中の木戸智明教諭は、札幌市の事業仕分けで「廃止」判定された「ていねブーム」の問題を取り上げて、生徒たちに地域への関心が芽生えた事例を報告した。実践報告に先立ち、札幌市立あいの里西小の菅原隆司教諭による熊本でのNIE全国大会の報告も行われた。

貯蓄や資本ストックが減少に向かう現実を現場教師がきちんと踏まえ、一覧性、保存性に優れた新聞がこれから的情報収集や指導の重要なツールになると訴えた。

厚別中の木戸智明教諭は、札幌市の事業仕分けで「廃止」判定された「ていねブル」の問題を取り上げて、生徒たちに地域への関心が芽生えた事例を報告した。写真。)

A classroom or workshop setting where several children and adults are gathered around tables. They are all focused on reading newspapers and cutting out specific articles or images with scissors. The environment appears to be a hands-on learning activity, possibly related to environmental education or recycling.

記事を切り抜いて台紙に張り付けてゆく作業。ふだん新聞に触れる機会が少なく、最初は途方に暮れた表情の子どもたちも、日下部憲一コーディネーターや4人の小学校教諭のアドバイスを受けると、徐々にこつをつかんだ様子。テーマを絞り込み、カラー写真で目を引くスポーツ記事や広告、環境をテーマにした記事を切り抜いて見出しや説明文を考え、独自性あふれる新聞をつくり上げていた。

トン郊外のカール・サンドバーグ・ミドル・スクールでの光景。教室の生徒全員がワシントン・ポスト紙を広げ、「批判記事を探せ」という教師の指示で各自の感性で選び、印をつける。選ぶ題材がさまざまなら、印をつけるのも記事、写真、広告など多様。「それを新聞が全く取り上げなければどうなる」を考えさせる授業で、自分で答えを出していく「学習者中心」の典型的な米国式授業だった。

ボストンは近隣1400校のうち620校に毎日4万2千部を提供。これも発行部数にカウントされ、企業の広告収入につながる。市民が旅行などで不在の時、配達しない分の相当額をNIEに寄付できる制度もある。

同社にはNIEコーディネーターが4人いた。うち3人は元教員。他の新聞社も教育現場を良く知る人が

批判記事の影響考える

海外の NIE

3



上米国で行われ
ているNIEの
授業左視察団の
メンバーに現状
を説明するアボ
ット氏

当たり、教材やマニアカルの提供、初めてNIEに取り組む教師も支援していく。ポスト紙の若年者向けのページ「K i d s P o s t」のよう、楽しくニュースを読む紙面もそういう人達に支えられている。

米国新聞協会（N A A）財団副理事長のジム・アボット氏によると、米国内の40%の学校がNIEに関わり、年に2億2千万部以上の新聞が配達される。それを生徒が持ち帰ることがで、き、経済的に恵まれないヒスピニツク系生徒の6割が家に持ち帰つて家族で読むという調査結果もある。

同財団の多くのリサーチaga、財団のウェブ・ページwww.naafoundation.orgでのみ見る事ができる。

新聞を授業で使う生徒と

A map of the Northeastern United States, specifically the New England and Great Lakes regions. It shows the coastlines of Maine, New Hampshire, Vermont, Massachusetts, Rhode Island, Connecticut, and New York. Major cities marked include Boston, New York City, and Washington D.C. The Great Lakes (Superior, Michigan, Huron, Erie, and Ontario) are also labeled. The word 'ワシントン' (Washington) is written over the location of Washington D.C.

読む子ほど成績上昇

使わない生徒の比較では、使う生徒のテストの成績が10%も良かった。新聞を読む頻度が高いほど成績も上がる。13~15歳の生徒に最も効果が大きく、マイノリティ（少数民族）や収入の低い家庭の生徒は29%も高かった。アボット氏は「家に読むものがない子が学校で新聞を読んで社会とかかるわりを持ち、また『読もう』という気になる。新聞を使つた授業は楽しく、生徒が読むことを強制と感じない」という別の調査もある。だから新聞は子どもが興味を持つ記事を載せる使命がある」と述べた。

お知らせ

網走で9月10日 NIEセミナー

当協議会主催の第8回NIE北見・網走セミナーは9月10日（金）午後1時20分から網走市立東小学校（網走市藻琴225）で開かれる。

セミナーでは日下部憲一コーディネーターが公開授業を行う。引き続き実践報告。セミナーは無料で、参加申し込みは協議会事務局へ。報告者は次の通り。

◇ 北見市立小泉小・永井

沢総局 岩見沢市4の西1、
M Y 岩見沢ビル5階)で開
かれる。いずれも実践報告
が中心。無料、参加申し込み
みは協議会事務局へ。

○…「いまの学生は、

○…「いまの学生は、膨大な量の記事の何をどう読めばいいか優先順位がわからない。その参考に出来るような商品説明を新聞社はすべきではないか」。NIE全国大会の分科会で地元・熊本県立大教授は若者の新聞離れを食い止める方策として、家電品の取扱説明書のような解説書の作成を新聞社側に提案した。

○…NIE実践の有効性をデータで立証し、その証明がきちんとなされれば、だれだって新聞を読むようになる。ユーザーが使うマニュアルのような、製品説明をつける配慮があってもいい、という意目

〇…今号の、このページで函館水産高の山本教諭が、くしくも数字を挙げて米国のNIE事情を紹介している。日本も新聞各社それにデータを駆使して独自PRを続けているが、もう一段二段、説得力のあるデータと「取説（トリセツ）」が必要ということなのかもしれない。（大）

視察から日本もNIE発祥の地に負けない、質の高い、多様な実践例が報告されている。新聞社のNIEプログラムも充実しつつある。NIE学会では理論的整備も進む。教育現場と新聞社、研究者の連携が深まれば今以上に、自信に満ちた日本型NIEになるのではないか。(函館水産高教諭 山本かおり)

唐教諭（北見市立東相内中・齊藤えり教諭）紋別高阪本さおり教諭

直人教諭と同士崎町立士崎中学校の中央中の高橋飛鳥教諭が研究発表分科会で報告した。石川教諭は環境教育を推進する中で、新聞を身近にしようと校内に「新聞閲覧コーナー」や、「気になる記事に感想を書く投稿ボックス」を設置したことを報告。高橋教諭は意見発表文を書く授業で新聞投稿を見本とする実践を発表した。

当協議会主催の第8回NIE北見・網走セミナーは、9月10日（金）午後1時20分から網走市立東小学校（網走市藻琴225）で開かれる。セミナーでは日下部憲二コーディネーターが公開授業を行う。引き続き実践報告。セミナーは無料で、参加申し込みは協議会事務局へ。報告者は次の通り。

十勝の2教諭発表
全新研岩手大会

全国新聞教育研究大会岩手・北上大会が8月4、5の両日、岩手県北上市文化交流センター、同市立黒沢尻東小を会場に開かれた。全国新聞教育研究協議会などの主催で、小中学校教諭、PTA関係者ら420人が参加。道内からは十勝管内鹿追町立鹿追小の石川

網走で9月10日
ZIEセミナー

沢総局(岩見沢市4の西1、MY岩見沢ビル5階)で開かれる。いずれも実践報告が中心。無料、参加申し込みは協議会事務局へ。

お知らせ